

地下鉄博物館 特別展



「丸ノ内線開通 70 周年展 ～車両編～」を開催！

開催期間：2024年6月4日(火)～9月1日(日)

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:山村 明義)は、公益財団法人メトロ文化財団(東京都千代田区、会長:奥 義光)が運営する地下鉄博物館において、**2024年6月4日(火)～9月1日(日)**にかけて開催する特別展「丸ノ内線開通 70 周年展 ～車両編～」に協力いたします。

丸ノ内線は、1954年1月に池袋～御茶ノ水間が開通してから、2024年1月で70年を迎えました。これを記念して、地下鉄博物館では、今年3月まで開催していた特別展「丸ノ内線開通 70 周年展 ～建設編～」に引き続き、「丸ノ内線開通 70 周年展 ～車両編～」と題した特別展を開催いたします。

丸ノ内線は、戦後初の地下鉄として、銀座線に次ぎ東京で2番目に開通した路線です。当時の最新型車両として登場した300形は、日本で初めて両開きドアや行き先方向幕が設置された画期的な車両でした。

1988年からは、後継として02系車両が登場し、車内駅名表示器の設置、ドア開扉時チャイムの鳴動開始、高周波分巻式チョッパが採用されるなど、近代化の先駆けとなった車両でした。

2019年からは、丸ノ内線2000系車両が登場し、安全・安定性の向上、車内快適性の向上、環境負荷低減など、様々な先進的な取組が施された最新式の車両です。

今回の特別展では、丸ノ内線70年の歴史の中から「車両」の部分にスポットをあて、戦後初の地下鉄車両であった300形から、最新車両の2000系に至るまでの経緯や各車両の特徴などについて、写真パネルや関連する実物資料により紹介いたします。

【特別展概要】

- 開催期間
2024年6月4日(火)～9月1日(日)
- 場所
地下鉄博物館 企画展示コーナー
- 展示内容
 - 丸ノ内線開通の歴史
 - 戦後初の地下鉄のための車両300形
 - 300形車両のデザインを受け継いだ02系車両
 - 伝統の継承と革新的な設備を融合させた2000系車両
 - 丸ノ内線車両のその後
 - 丸ノ内線車両エピソード、豆知識

ちか かく ほん ぶつ かん
地下鉄博物館

- 場所 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 6-3-1
- アクセス 東京メトロ東西線 葛西駅高架下
- 開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日となる場合はその翌日)、年末年始12月30日～1月3日
- 入館料 おとな 220円 こども 100円(満4歳以上中学生まで)
- 電話 03-3878-5011(10時～17時)
- H P <https://www.chikahaku.jp/>